

(学校運営協議会・報告様式)

令和8年度 第1回 鈴鹿市立神戸小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和8年5月22日(金) 10:30~11:45

2 場 所 少人数教室

3 あいさつ(学校長、委員長)

(1) 委員長あいさつ

5月としては季節外れの暑さが続き、低学年児童の体調が心配される。衣替えの時期であるが、春・夏・秋の服装が混在しており、今後はこのような暑さが当たり前になる可能性もある。昨日開催されたCS(コミュニティ・スクール)研修会に参加し、「なぜ今CSなのか」について改めて考える機会となった。子どもを取り巻く家庭・地域の状況が変化中、厳しい時代を生き抜く力の育成が求められている。それぞれの学校にとって「CSは何のためにあるのか」を繰り返し検討していくことが大切である。第1回は学校からの提案を中心に進めていく。

(2) 校長あいさつ

校長として3年目となり、子どもたちの顔も覚えてきている。積極的に教室をまわり、機会を見つけて地域へ足を運ぶようにしている。今年度も、水泳授業はコナミスポーツで実施している。正門ロータリー付近の樹木について、倒木の危険性が指摘されたため教育委員会へ連絡し伐採対応を行った。六郷川周辺の樹木についても地域から情報提供をいただき、剪定を実施したことで環境改善につながった。安全を最優先に、地域と連携しながら学校運営・教育活動を進めていきたい。

4 協議内容

(1) 本年度の学校経営方針について

学校経営方針をもとに説明

・学校経営方針について承認された。

(2) 本校の教育活動について (☆:委員の発言等 ●:回答等)

☆:生成AIにより効率化や時間短縮が可能になっている。全小中学校で取り組みが進められると聞いているが、学校としての取組は。

●:まず教職員自身が生成AIの使い方を学ぶ必要がある。まずは働き方改革の一環

として活用していきたい。一方で、子どもの活用については慎重に考えている。画像合成や文章変換など、子どもは面白さから安易に利用し、トラブルにつながる可能性がある。著作権や肖像権の問題もあり、基本的なルールから指導する必要がある。今後の社会では必要な技術であるため、危険性も含めて適切な使い方を伝えていく必要がある。

☆:AI で作成した文章は似た内容になりやすいため、自分の言葉で修正している。教職員の働き方改革につながり、子どもと向き合う時間が増えることは望ましい。一方で、研修等が増えてかえって負担にならないか心配である。

☆:「何のためのCSなのか」を改めて確認したい。学校・地域・保護者の代表が意見を出し合い、学校をより良くしていく仕組みである。昨年度は図書室で実施していた活動が、今年度は少人数教室開催へ変更された。CS が単なるノルマにならず、学校や子どもたちにとってより良い取組につながる事が大切である。学校関係者評価を踏まえた改善点を次年度へつなげる PDCA サイクルを大切にしたい。

(3) その他意見・要望

☆:児童数・学級数について、保護者が不安を抱かないよう、児童数や学級数の説明があるとよい。人数の多い学級では教員負担も大きいのではないかな。

●:説明の機会を検討する。人数の多い学級では、できる範囲でサポートする体制を組んでいる。

☆:遠足について、遠足中止により、弁当づくりが2日連続になり負担が大きかった。

●:連休の間に設定していたため連続となった。両日とも雨天だったこともあり、今後日程を再考したい。

☆:通信等にかかわって、保護者が準備すべき必要物品等の連絡を早めにしてほしい。また、分かりやすい表現で伝えてほしい。